

# 6月・7月の催し物

## 紙の博物館 ☎ 893-0886

### ○第2回いの美術展

6月9日(火)～6月21日(日)  
紙の町の町から新しい文化・芸術活動を興す取組であり、新進作家の登竜門として県下に募集した紙工芸、写真、書道、絵画、工芸の5部門、入選作品を展示します。

### ○第2回土佐の紙大瀆紙に描いた日本画展

6月24日(水)～6月30日(火)  
いの町発の大瀆紙に平山郁夫画伯など現代の日本画家34名が描いた新作約40点を展示します。この作品は日本で最初にいの町でおひろめとなる他に類のない展示会です。



○高橋敬市「里帰り・山岳写真展」  
北アルプス立山劔岳 岳と花展  
6月26日(金)～7月26日(日)  
北アルプス立山を撮り続けている、高知出身の写真家高橋敬市さんの里帰り写真展。立山、劔岳の四季折々の写真、約40点を展示します。

## ギャラリー・コパ

☎ 893-1200

### ◇第12回プラモデル展示会

5月31日(日)～6月7日(日)  
大人から子どもまで幅広い世代に楽しんでいただけるプラモデルの展示会です。飛行機や船、車、バイク、戦車、ガンダムをはじめキャラクター物まで、約300点を展示します。

### ◇琉球からみちのくへ染め織りの旅

6月11日(木)～6月14日(日)  
特選呉服いしはらの展示会です。  
日本の北から南より取り寄せた貴

重な工芸品の着物や帯、約200点を紹介します。また、会期中は下駄の鼻緒のすげかえや展示など、合わせて約300点を展示販売します。

### ◇親子三代手作り展

6月17日(水)～6月21日(日)  
高知市の森元礼子さんのお母さん(浜田辰位)は95歳の今もなお和紙で創作人形を作っています。その姿と作品を紹介します。森元さん親子の古布や着物などをリメイクした洋服や和の小物、ブローチなど、約300点を展示販売します。

### ◇陶器とビーズアクセサリーとアジア雑貨&手づくり展

6月25日(木)～6月29日(月)  
高知市の河野さんと手づくり仲間の展示会です。趣味で楽しみながら作った陶器やビーズアクセサリー(ネックレス・ブレスレット・ストラップ等)の他、アジア雑貨、かごや洋服、袋物等、合わせて約700点を展示販売します。

## ご案内

# 紙の博物館とギャラリー・コパの利用案内

紙の博物館とギャラリー・コパの入場料については、減免制度やお得な割引制度があります。紙の博物館のホームページの割引クーポン券や、町内施設等にありますが割引券等、ご利用される方の状況や利用回数によってお得な方法をお選びください。紙の博物館の場合は、65歳以上の方等お買い求めから6か月間は何度でも入場できる半年間観覧券をおすすめします。

紙の博物館は体験料420円で和紙の手漉き体験ができ、色紙2枚又はハガキ8枚ができあがりまゝ。和紙を漉いて、オリジナルな使い方をお楽しみください。

### 入場料 (いの町紙の博物館)

区分	個人	減免*	団体・クーポン等	紙漉き体験をする方
大人	520円	260円	420円	420円
小人(小・中・高)	100円	50円	80円	80円
回数券(12枚綴り)	5,200円			
半年間観覧券	1,310円			

\*減免対象：身体障害者手帳1・2級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳持参の方とその介護者1名  
年齢確認可能なもの持参の65歳以上の方

### 入場料 (ギャラリー・コパ)

区分	個人	減免*	団体
小学生以上	100円	50円	50円
回数券(12枚綴り)	1,050円		